



野溝交流会



わあーっ!

わあーっ!

令和6年1月1日 現在
総世帯数 8,155世帯
総人口 17,267人
男 8,630人
女 8,637人

芳川地区
地域づくりセンター
☎58-2034

芳川出張所
☎58-2034

芳川公民館
☎58-2034

芳川福祉ひろば
☎57-0168

※芳川地区地域づくりセンター、
芳川出張所、芳川公民館への
ご連絡は同じ番号となります。

芳川みなみ福祉ひろば
☎86-1055

新しく野溝町会に入った方を主な対象に、町会活動に親しんで理解してもらうために「野溝交流会」が12月3日、開催されました。参加者は大人21人、子ども29人、主催者・関係者20人が集まりました。

町会や関係する団体の紹介プレゼンに続いて、第一部は親子で作ろう！クリスマススノードーム。糊で粘り気をつけた水を入れたドームの中に好きなラメを入れて、人形をつけたふたをするだけの簡単な作り方ですが、楽しくできました。

第二部は、大人と子どもに分かれて、大人は柏澤公民館長の野溝の話、子どもは辰野町にお住まいの篠原忍先生の指導で、新聞紙を使った楽しく身体を動かす遊びで大盛り上がりでした。

最後は、みんなで和気あいあいの茶和会で締めくくりました。



▲クリスマススノードーム



▲みんなで茶話会



▲全体説明(町会ってなに?)

北原町文化祭

11月11・12日の両日、北原町で文化祭が開催されました。規模を縮小しての開催でしたが、5歳のお子さんの作品を始め多くの力作が寄せられました。



▲芳川キャラクターシカセギン

シニア短大で新博物館を見学

新しい松本市立博物館を学ぶ、芳川シニア短期大学が2回開催されました。

座学での博物館についての説明の後、実際に学芸員さんの案内で新博物館を視察、その魅力を満喫しました。



▲松本市立博物館の特大ジオラマに興味津々

三九郎

芳川の青空のもと
一年間の無病息災を願い、
三九郎は、道祖神祭りに関連すると
言われ、呼び名の由来については、
諸説ありますが、江戸時代から続く火祭りです。村井町と小屋では、
お札を配るなど独自の伝統が受け継がれています。

山屋



よがわ



野溝



亦玉



美芳町



北原町



村井町



平田





▲設置された記念碑 2024.1.1



▲芳川地域づくりセンター南の土井で挙行された神事 2023.12.17

平成30(2018)年度から令和3(2021)年度にかけて行われた、二区堰改修事業の記念碑が建立され、それを祝う神事が挙行されました。

昭和37(1962)年から40(1965)年に改修されたコンクリート製の水路が、設置から60年を経過して、老朽化によりひび割れや漏水があるため、総額2億1,588万円の巨費を投入して、四ヶ堰円筒分水の下流から小屋公園までの1,300mを補修した記録です。



芳川小学校しめ飾りづくり

体育館にあつまつてのしめ飾りづくりは、4年振りです。5年生が「おわん」作りに挑戦しました。中には、「インフルエンザで休んだ友だちの分も」と5個も製作した子もいました。

▲おやす



たちばなし

年齢を重ねると月日の過ぎるのが早いと言われますが、私も65歳間際となり実感する毎日を過ごしています。

今年も令和6年の新春を無事に迎えることができ、家族、友人、地域の方々に感謝でいっぱいです。

昨年を振り返ると、3月のWBCで日本中が歓喜の渦となりました。大谷選手の「今日だけは憧れるのをやめましょう。憧れてしまつたら超えられない」の言葉はこの先も忘れることができません。

新型コロナウイルス感染の第5類への引き下げもすっかり定着し、日常が戻りつつあります。観光地も賑わいが戻り、8月の上高地は多くの外国人観光客で溢れていたと聞いています。

夏の猛暑も大変でした。我が家では冷風機を購入し寝苦しい夜を多少快適に過ごすことができました。

その後も秋を実感する間もなく冬を迎えた気がします。芳川地区に目を向けると、イオンタウンが生まれ変わり村井新駅舎も目にするのができ、今から楽しみです。

昨年を表現する漢字は「税」と世情を反映し複雑でしたが、再び大谷選手のドジャース入団の話題で明るさが戻った気がします。

さて、今年はどうな年にしよう…と思いは馳せませんが、健康第一であることに変わりなく、新しい楽しいことにチャレンジしたい年だと思いますね。また、松本山雅FCのJ2、J1復帰も願うばかりです。